

会計名

公共下水道事業特別会計

公共下水道事業

1 受益者負担金事務

公共下水道として整備した区域に受益者負担金を賦課し、徴収を行っています。

(1) 賦課

新たに賦課対象区域とした土地はなく、負担金の決定も行っておりません。

		負担金決定分	減 免	徴 収 猶 予	令和2年度徴収開始
金 額	円	0	0	0	0
	%		0.0	0.0	0.0
筆 数	件	0	0	0	0
	%		0.0	0.0	0.0
面 積	m ²	0.00	0.00	0.00	0.00
	%		0.0	0.0	0.0

(2) 徴収

令和元年度負担金の徴収実績は、次のとおりです（滞繰分については、不納欠損（51,600円、2件）があります。）。

(円：%)

		調 定	収 入 済	未 納	収 納 率
現年分	金額	9,974,200	9,971,300	2,900	100.0
	件数	37	36	1	97.3
滞繰分	金額	364,700	112,000	201,100	30.7
	件数	10	2	6	20.0
合 計	金額	10,338,900	10,083,300	204,000	97.5
	件数	47	38	7	80.9

(円)

現年分収入のうち口座振替	金額	0	前納報奨	金額	124,970
	件数	0		件数	13

2 下水道使用料徴収事務

下水道に排水した汚水量に応じて、使用料を徴収しました。使用料の徴収事務は、大府市水道事業に委託しています（滞繰分については、不納欠損（84,181円、28件）があります。）。

(円：%)

			平成29年度	平成30年度	令和元年度	対前年比
調 定	現年分	金額 (a)	705,622,340	715,785,980	719,270,500	100.5
		件 数	148,624	152,531	155,125	101.7
	滞繰分	金 額	2,322,221	2,383,041	2,112,801	88.7
		件 数	626	615	636	103.4
収 納	現年分	金 額	703,978,850	714,370,160	662,227,230	92.7
		件 数	148,173	152,073	143,772	94.5
	滞繰分	金 額	1,511,870	1,599,710	1,320,300	82.5
		件 数	435	406	414	102.0
未納額	現年分	金 額	1,643,490	1,415,820	57,043,270	4,029.0
		件 数	451	458	11,353	2,478.8
	滞繰分	金 額	741,061	696,981	708,320	101.6
		件 数	164	178	194	109.0
有収水量 m ³ (b)			7,287,470	7,372,289	7,385,006	100.2
使用料1m ³ 単価 (a/b)			97	97	97	100.0

※令和2年度からの企業会計化に伴い、令和元年度末での打切り決算としました。

会計名

農業集落排水事業特別会計

農業集落排水事業

1 受益者分担金事務

農業集落排水処理区域内において、新規排水設備を設置した場合に受益者分担金を賦課し徴収を行っています。令和元年度については2件でした。

	調 定	収入済	未 納
金 額 (円)	214,600	214,600	0
件 数	2	2	0

2 使用料徴収事務

農業集落排水施設を使用し排水した汚水量に応じて、使用料を徴収しました。使用料の徴収事務は、大府市水道事業に委託しています。

		調 定	収入済	未 納
現年分	金 額 (円)	3,519,460	3,504,990	14,470
	件 数	820	817	3
滞繰分	金 額 (円)	5,370	5,370	0
	件 数	1	1	0

※令和元年度末をもって農業集落排水事業を廃止しました。また、令和2年度から企業会計化を行う公共下水道事業への統合に伴い、令和元年度末での打切り決算としました。

217	款・項・目	1・1・1	目名	一般管理費	目の決算額	134,737,970	217
	細事業名	2・1 下水道経営事業					
	細事業コスト	50,535,954	【うち人件費 7,983,059 うち減価償却費 243,684 】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）						
	経営全般 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 効率的な経営を目指します。						
評価指標	指標名		R1年度実績値	／	R1年度計画値	単位	
	一般会計からの繰入金額（上限額）		1,100,000	／	1,100,000	千円	
				／			
				／			
実施内容	1 下水道事業に地方公営企業法を適用 令和2年4月に地方公営企業法を一部適用するための準備を継続して実施しました。 (1) 固定資産調査・評価について、平成30年度分までの決算書等の整理を行い、年度別決算額節別一覧表や工事一覧表等の作成を行いました。 (2) 予算編成システムにより、令和2年度大府市下水道事業会計予算を作成しました。 (3) 令和2年4月から、会計基本・契約システムが本稼働できるよう仮稼働で運用を行いました。 (4) 地方公営企業法の適用に向け、関係各課との調整を行いました。 (5) 例規整備を行いました。						
	2 効率的な経営の推進 (1) 経営状況に関する情報の公表をホームページで行いました。 (2) 平成30年度決算統計をまとめ、決算状況や経営指標を基に経営分析を行いました。 (3) 一般会計からの繰入金金の在り方を検討し、必要額を繰入しました。 (4) 下水道事業の起債について、令和元年度の借入れも引き続き据置期間を0年にすることで、将来の利子償還額の減少を図りました。						
	3 経営意識の向上 (1) 企業会計や経営に関する研修に参加しました。 (2) 経営に関する課内勉強会を実施しました。						
	4 情報収集 (1) 国や近隣市町の動向に注視し、下水道事業の経営全般について情報収集に努め、経営分析に活かしました。 (2) 矢作川境川流域下水道推進協議会や境川処理部会等に参加し、他の下水道事業と連携を図りました。						
事業の評価	妥当性評価	下水道経営事業は、効率的な経営を目的としており、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	大府市公共下水道事業経営戦略を策定し、企業会計に向けた準備を行ったことで、企業会計に対する正しい知識の習得ができました。					
	効率性評価	専門知識を有した事業者に委託することにより、効率的に企業会計移行を推進することができました。					
事業費	左の財源内訳						
	35,463,720	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	17,400,000	10,619,400	7,444,320		

主要事業No 161

主要事業No 161

218	款・項・目	1・1・2	目名	維持管理費	目の決算額	403,221,861	218
	細事業名	3・1 污水管渠等維持管理事業					
	細事業コスト	429,178,548	【うち人件費 10,246,297 うち減価償却費 386,804,102】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 污水管渠等						
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 維持管理を適切に行い、良好な状態で污水が流れるようにします。						
評価指標	指標名		R1年度実績値	／	R1年度計画値	単位	
	污水維持管理区域面積		1,288.2	／	1,288.2	ha	
				／			
実施内容	下水道が使用できる区域の污水管渠等について、維持管理を行いました。						
			平成29年度		平成30年度		令和元年度
	污水維持管理区域面積		1,288.1ha		1,288.2ha		1,288.2ha
	管渠延長		332.3km		334.0km		334.9km
	年間処理水量		7,713,048m ³		7,811,719m ³		7,905,718m ³
	日平均処理水量		21,132m ³		21,401m ³		21,660m ³
	1 管理、清掃委託 マンホールポンプ等の施設の管理及び清掃を行いました。						
			平成29年度		平成30年度		令和元年度
	マンホールポンプ管理		41か所		41か所		41か所
	マンホールポンプ清掃		16か所		16か所		16か所
サイホン清掃		3か所		1か所		2か所	
2 調査委託 施設機能の適正な維持のため、事業所排水水質調査を行いました。							
		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
事業所排水水質調査		42か所		40か所		36か所	
污水管渠調査		0.6km		0.2km		0km	
3 工事、緊急修繕 マンホールポンプ等の取替工事や緊急修繕を行いました。							
		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
マンホールポンプ取替工事		2か所		1か所		2か所	
マンホール修繕工事（鉄蓋取替）		5か所		3か所		3か所	
緊急修繕		8か所		14か所		9か所	
事業の評価	妥当性評価	下水道法に定められているため、污水管渠等の維持管理は市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	污水管渠等施設の管理と調査を行い、施設の機能を保持し、未然に事故を防止することができました。					
	効率性評価	長期的な計画に沿って調査や工事を行うことにより、効率的な維持管理が実施でき、長期的な視点で経済性を考慮することができました。					
事業費	左の財源内訳						
	25,819,521	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	25,819,521	0		

主要事業No 159

主要事業No 159

219	款・項・目	1・1・2	目名	維持管理費	目の決算額		219
	細事業名	3・2 雨水管渠等維持管理事業					
	細事業コスト	172,532,673 【うち人件費 8,394,557 うち減価償却費 119,522,991】					
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）						
	雨水排水施設（雨水管渠、雨水ポンプ場等） 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 雨水排水対策のため、常に雨水が速やかに流れるような状態にし、水害による被害を少なくします。						
評価指標	指標名		R1年度実績値	／	R1年度計画値	単位	
	雨水維持管理区域面積		1,288.2	／	1,288.2	ha	
				／			
実施内容	雨水の排水対策を実施した区域の雨水排水施設を維持管理しました。						
			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	雨水維持管理区域面積		1,288.1ha	1,288.2ha	1,288.2ha		
	管渠延長		38.8km	39.0km	39.0km		
1 管理、草刈委託	江端、深田、伊勢木雨水ポンプ場の管理や点検及び公共下水道管理用地の草刈り等を行いました。						
			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	雨水ポンプ場運転管理等		5件	4件	4件		
	管渠内蚊駆除		2か所	2か所	2か所		
2 調査委託	公共下水道草刈り						
			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	雨水ポンプ場		10か所	6か所	6か所		
	雨水管渠等		5か所	4か所	2か所		
事業の評価	妥当性評価	下水道法に定められているため、雨水排水施設の維持管理は市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	雨水排水施設の運転管理や調査を行い、施設の正常な機能を保持することができました。					
	効率性評価	長期的な計画に沿って、調査や工事を行うことにより、効率的な維持管理が実施でき、長期的な視点で経済性を考慮することができました。					
事業費	左の財源内訳						
	39,308,494	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		6,000,000	0	0	33,308,494		

主要事業No 160

主要事業No 160

220	款・項・目	1・1・2	目名	維持管理費	目の決算額		220																																
	細事業名	3・4 流域下水道維持管理負担金事業																																					
	細事業コスト	304,340,371 【うち人件費 822,995 うち減価償却費 25,122】																																					
事業の目的	<p>対象（何を、誰を対象として） 大府市の公共下水道から流域下水道に排出する汚水</p> <p>目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 排出汚水量に応じた負担金を支払うことにより、流域下水道の汚水処理施設が適正に維持管理されます。</p>																																						
評価指標	指標名		R1年度実績値	/	R1年度計画値	単位																																	
	流域下水道負担金対象水量		7,905.72	/	8,354	千 ³ m																																	
	公共下水道普及率		83.9	/	83	%																																	
				/																																			
実施内容	<p>境川流域下水道の維持管理費負担金及び資本費負担金に関する覚書に基づき、大府市より境川流域下水道に排出した汚水量に応じ、県に維持管理等負担金を支出しました。</p> <p>1 処理量（流域下水道負担金対象水量）、公共下水道普及率 公共下水道普及率とは、公共下水道処理区域内人口を総人口（住民基本台帳人口）で除した率です。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成29年度</td> <td>平成30年度</td> <td>令和元年度</td> </tr> <tr> <td>処理量(千³m)</td> <td>7,713</td> <td>7,812</td> <td>7,906</td> </tr> <tr> <td>公共下水道普及率(%)</td> <td>83.4</td> <td>83.7</td> <td>83.9</td> </tr> </table> <p>2 維持管理費負担金及び資本費負担金 算定期間内に想定される維持管理費を流入水量で除したものが、維持管理費負担金単価です。施設の減価償却費及び起債利子に基づいて毎年定めているのが、資本費負担金です。 維持管理費負担金及び資本費負担金事務取扱要領が平成31年4月1日に施行されたのに伴い、資本費（一般分）と資本費（特定分）は、資本費分となっています。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成28～30年度</td> <td></td> <td>令和元～3年度</td> </tr> <tr> <td>維持管理分(円/³m)</td> <td>43.1</td> <td></td> <td>41.7</td> </tr> <tr> <td>資本費(一般分)(円/³m)</td> <td>5.7</td> <td></td> <td>令和元年度</td> </tr> <tr> <td>資本費(特定分)(円/³m)</td> <td>14.0</td> <td></td> <td>資本費分(円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>33,930,253</td> </tr> </table> <p>3 維持管理等負担金 平成29年度 381,123千円 平成30年度 386,212千円 令和元年度 302,796千円（打切り決算） 令和2年4月に下水道事業に地方公営企業法を一部適用したことにより、打切り決算となっています。</p>								平成29年度	平成30年度	令和元年度	処理量(千 ³ m)	7,713	7,812	7,906	公共下水道普及率(%)	83.4	83.7	83.9		平成28～30年度		令和元～3年度	維持管理分(円/ ³ m)	43.1		41.7	資本費(一般分)(円/ ³ m)	5.7		令和元年度	資本費(特定分)(円/ ³ m)	14.0		資本費分(円)				33,930,253
		平成29年度	平成30年度	令和元年度																																			
	処理量(千 ³ m)	7,713	7,812	7,906																																			
	公共下水道普及率(%)	83.4	83.7	83.9																																			
	平成28～30年度		令和元～3年度																																				
維持管理分(円/ ³ m)	43.1		41.7																																				
資本費(一般分)(円/ ³ m)	5.7		令和元年度																																				
資本費(特定分)(円/ ³ m)	14.0		資本費分(円)																																				
			33,930,253																																				
事業の評価	妥当性評価	愛知県流域下水道条例に基づいて、県が流域下水道の管理を行っているため、処理区域内である大府市が維持管理の負担をすることになります。																																					
	有効性評価	境川流域下水道関連公共下水道として適正な維持運営がされることで、生活環境の改善及び公共用水域の水質の保全に寄与しました。																																					
	効率性評価	境川流域下水道として広域的な管理がされることで、単独下水道よりも施設の建設費及び維持管理費が軽減出ています。																																					
事業費	左の財源内訳																																						
	302,796,407	国県支出金	地方債	その他	一般財源																																		
		0	0	302,796,407	0																																		

221	款・項・目	1・2・1	目名	下水道建設費	目の決算額	204,930,727	221
	細事業名	2・2 雨水整備事業					
	細事業コスト	21,402,862 【うち人件費 10,163,998 うち減価償却費 573,047】					
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 雨水排水施設（雨水管渠、雨水ポンプ場等） 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 雨水を円滑に排水するために計画的に整備し、水災害を未然に防止しています。						
評価指標	指標名		R1年度実績値	／	R1年度計画値	単位	
	公共下水道の雨水整備実施済面積（5年確率降雨）		1,288.2	／	1,288.2	ha	
	公共下水道の雨水整備実施済面積（10年確率降雨）		157.5	／	157.5	ha	
実施内容	1 雨水施設の計画的な整備 (1) 5年確率降雨に対する対策 快適で便利な暮らしの基盤づくりとして、市街地の水災害の防止を目的に5年確率降雨に対応した雨水排水施設整備を実施しています。市街化区域の整備は汚水整備同様おむね完了しており、今年度工事はありませんでした。						
	雨水検討及び		区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	雨水整備実施	年度分	0.4ha	0.1ha	0ha		
済面積		累計	1,288.1ha	1,288.2ha	1,288.2ha		
実施内容	(2) 10年確率降雨に対する対策 市街化区域の治水安全度の更なる向上のため、10年確率降雨に対応する雨水排水対策を実施しています。今年度は、計画している大府北中学校調整池整備の準備のため、国県に補助金の要望などを行いました。地下式調整池、貯留量2,480m ³						
	雨水検討及び		区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	雨水整備実施	年度分	0ha	41.2ha	0ha		
済面積		累計	116.3ha	157.5ha	157.5ha		
事業の評価	2 地震対策 雨水管渠のうち重要な幹線等の耐震化のため、委託や工事を行いました。						
	(1) 管路施設設計耐震委託 ハツ屋第1雨水幹線ほか 共和町地内、人孔浮上抑制設計15か所、継手設計1か所						
	(2) 管路施設耐震対策工事 共和西雨水幹線 共和町地内、工事延長20.3m、継手対策工1か所						
事業費	妥当性評価	下水道法に定められているため、市街地における浸水被害防止を図るため雨水排水施設の設置は、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	浸水対策、下水道施設の耐震化のため有効な委託と工事を実施できました。					
	効率性評価	必要限度の委託とし、可能な部分は職員で実施することにより、効率的に実施できました。					
事業費	21,709,600		左の財源内訳				
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			5,000,000	16,500,000	0	209,600	

主要事業No 157

主要事業No 157

222	款・項・目	1・2・1	目名	下水道建設費	目の決算額		222													
	細事業名	2・1 汚水整備事業																		
	細事業コスト	291,629,152 【うち人件費 13,085,633 うち減価償却費 21,593,222】																		
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 汚水管渠等																			
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 計画的に整備することにより、公共用水域の水質汚濁を防止しています。																			
評価指標	指標名		R1年度実績値	/	R1年度計画値	単位														
	公共下水道の汚水整備実施済面積		1,288.2	/	1,288.2	ha														
				/																
実施内容	<p>1 汚水施設の計画的な整備</p> <p>川や海などの水質を守り、衛生的な街づくりと快適な生活環境の基盤づくりとして汚水整備を計画的に実施しています。市街化区域内の汚水整備はおおむね完了しており、大府市公共下水道事業計画における整備率は98.4%となっています。</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="3">汚水整備実施済面積</td> <td>区分</td> <td>平成29年度</td> <td>平成30年度</td> <td>令和元年度</td> </tr> <tr> <td>年度分</td> <td>0.4ha</td> <td>0.1ha</td> <td>0ha</td> </tr> <tr> <td>累計</td> <td>1,288.1ha</td> <td>1,288.2ha</td> <td>1,288.2ha</td> </tr> </table> <p>今年度は木の山農業集落排水を公共下水道に統合する工事などを実施しました。</p> <p>(1) 公共下水道事業管渠布設工事 汚水支線5001（木の山工区） 共和町地内、管渠布設延長672.3m</p> <p>(2) 公共下水道事業管渠布設工事（MP） 木の山2号マンホールポンプ 共和町地内、マンホールポンプ設置2基</p> <p>(3) 公共下水道事業管渠布設工事 森岡2号汚水幹線（大府東浦線関連）（令和2年度に繰越し） 森岡町地内、管渠布設延長46.7m</p> <p>(4) 公共下水道事業汚水管路修繕補強工事 横根2号汚水幹線ほか 横根町地内ほか、補強箇所3か所</p> <p>2 調査測量設計委託等</p> <p>下水道事業を新たに開始するための必要な手続きや、工事に使用する資器材の価格を調査する委託を実施しました。</p> <p>(1) 公共下水道事業都市計画決定図書作成業務委託 大府町地内、都市計画決定図書作成1式</p> <p>(2) 公共下水道事業資器材価格特別調査業務委託 特別調査2品目</p>							汚水整備実施済面積	区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	年度分	0.4ha	0.1ha	0ha	累計	1,288.1ha	1,288.2ha	1,288.2ha
	汚水整備実施済面積	区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度															
年度分		0.4ha	0.1ha	0ha																
累計		1,288.1ha	1,288.2ha	1,288.2ha																
事業の評価	妥当性評価	下水道法に定められているため、公共用水域の水質保全のために実施する下水道の整備は、市が実施すべき事業です。																		
	有効性評価	農業集落排水の公共下水道へ統合に向けた事業や、他事業に関連した事業を計画どおり進めることができました。																		
	効率性評価	必要限度の委託とし、可能な部分は職員で実施することにより、効率的に実施できました。																		
事業費	左の財源内訳																			
	141,971,783	国県支出金	地方債	その他	一般財源															
32,000,000		37,100,000	28,963,300	43,908,483																

主要事業No 158

主要事業No 158

223	款・項・目	1・2・1	目名	下水道建設費	目の決算額		223																				
	細事業名	3・1 雨水貯留浸透施設補助事業																									
	細事業コスト	225,712	【うち人件費 82,299 うち減価償却費 2,512 】																								
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）																										
	貯留施設設置者 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 河川等の負担軽減のため、市民と連携して雨水貯留施設を設置し、流出抑制を図ります。																										
評価指標	指標名		R1年度実績値	／	R1年度計画値	単位																					
	貯留量		0.99	／	28.90	m ³																					
				／																							
				／																							
実施内容	<p>1 雨水貯留浸透施設補助</p> <p>豪雨時の雨水流出の抑制、雨水の有効利用に寄与することを目的に、雨水貯留浸透施設を設置する市民に対し、雨水貯留浸透施設設置奨励補助金を交付しています。</p> <p>(1) 浄化槽転用貯留槽 公共下水道への切替の際に不要となる浄化槽を清掃し、雨水貯留槽へ転用を行うものですが、今年度は申請がなく、補助金の交付はありませんでした。</p> <p>(2) 貯留槽 雨どい等に貯留槽（タンク等）の設置を行うもので、申請のあった6件に対し、補助金の交付を行いました。</p> <p>(3) 浸透樹、浸透管 地中に雨水が浸み込む透水性の樹や、管の設置を行うもので、今年度は申請がなく、補助金の交付はありませんでした。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助金交付件数</td> <td>8件</td> <td>8件</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>浄化槽転用件数</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>貯留槽件数</td> <td>8件</td> <td>8件</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>浸透樹、浸透管件数</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table>								平成29年度	平成30年度	令和元年度	補助金交付件数	8件	8件	6件	浄化槽転用件数	0件	0件	0件	貯留槽件数	8件	8件	6件	浸透樹、浸透管件数	0件	1件	0件
		平成29年度	平成30年度	令和元年度																							
補助金交付件数	8件	8件	6件																								
浄化槽転用件数	0件	0件	0件																								
貯留槽件数	8件	8件	6件																								
浸透樹、浸透管件数	0件	1件	0件																								
<p>2 累計貯留量</p> <p>指標の計画値は総合排水計画に基づき設定したものであり、令和元年度の貯留量は0.99m³で累積貯留量は405.99m³でした。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貯留量（当該年度）</td> <td>1.50m³</td> <td>1.94m³</td> <td>0.99m³</td> </tr> <tr> <td>貯留量（累計）</td> <td>403.06m³</td> <td>405.00m³</td> <td>405.99m³</td> </tr> </tbody> </table>								平成29年度	平成30年度	令和元年度	貯留量（当該年度）	1.50m ³	1.94m ³	0.99m ³	貯留量（累計）	403.06m ³	405.00m ³	405.99m ³									
	平成29年度	平成30年度	令和元年度																								
貯留量（当該年度）	1.50m ³	1.94m ³	0.99m ³																								
貯留量（累計）	403.06m ³	405.00m ³	405.99m ³																								
事業の評価	妥当性評価	市がこの事業を縮小した場合、市民各戸での貯留量が減少して、雨水による河川等への負担が増加するといった影響が出るため、市が実施すべき事業です。																									
	有効性評価	補助金の交付により、累積貯留量が年々増加しており、雨水流出の抑制を図ることができています。																									
	効率性評価	産業文化まつり等にて、下水道普及推進とともに、補助のPRを行うことができました。																									
事業費	左の財源内訳																										
	69,300	国県支出金	地方債	その他	一般財源																						
		0	0	0	69,300																						

(単位 千円)

事業名	事業費	左の財源				工期	場所	業者名	説明
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源				
1.1.2 維持管理費									
マンホールポンプ異常通報装置更新工事 梶田2号MP始め5か所	2,356			2,356	1. 9. 4 2. 2. 17	梶田町地内 ほか	昱耕機株式会社	異常通報装置取替工5台	
マンホールポンプ取替工事 梶田2号マンホールポンプほか	2,415			2,415	1. 9. 26 2. 2. 17	梶田町地内	昱耕機株式会社	水中汚水ポンプ取替3台	
沈砂池浚渫工事 江端雨水ポンプ場	5,665			5,665	1. 10. 2 2. 2. 17	月見町地内	オオブユニテニイ株式会社	沈砂池・ポンプ井・流入水路浚渫 V=148m ³	
投込式水位計取替工事 伊勢木雨水ポンプ場	2,431			2,431	1. 12. 18 2. 3. 5	終山町地内	シフトエンジニアリング株式会社 名古屋古屋支社	水位計取替工1基	
カラーマンホール蓋交換工事 大府駅東口始め5か所	2,362			2,362	1. 9. 4 2. 1. 6	中央町地内 ほか	希光建設株式会社	カラーマンホール蓋交換5基	
1.2.1 下水道建設費									
公共下水道事業耐震対策施設工事 大府3号汚水幹線	5,851	2,500			1. 6. 19 1. 10. 25	共栄町地内	有会社山口土建	人孔浮上防止工1か所	
公共下水道事業耐震対策施設工事 大府7号汚水幹線ほか	14,618	6,500			31. 4. 24 1. 9. 6	若草町地内	オオブユニテニイ株式会社	管更生工L=116.1m	
公共下水道事業管渠布設工事 汚水支線5001(木の山工区)	39,614	16,000	21,600	1,997	1. 6. 26 2. 1. 10	共和町地内	希光建設株式会社	PE管布設L=672.3m	
公共下水道事業管渠布設工事 (MP)木の山2号マンホールポンプ	22,571	7,000	14,400	1,155	1. 7. 31 2. 2. 17	共和町地内	昱耕機株式会社	汚水ポンプ設置工2基	
公共下水道事業管渠布設工事 森岡2号汚水幹線	16,900		16,900		1. 9. 30 2. 5. 22	森岡町地内	門脇商店	工事延長L=46.7m、レン管φ500 布設L=43.0m、人孔設置工3か所	
管路施設耐震設計業務委託(雨水) ハッ屋第1雨水幹線ほか	6,478	1,700	4,700	78	1. 7. 24 2. 2. 17	共和町地内 ほか	株式会社オオバ	人孔浮上抑制設計15か所、継手設計1か所	
公共下水道事業耐震対策施設工事 共和雨水幹線	15,232	3,300	11,800	132	1. 9. 11 2. 1. 15	共和町地内	希光建設株式会社	工事延長20.3m、継手対策工12か所、断面修復工1式	
境川流域下水道負担金	25,787		25,700	87			愛知県	県流域下水道が実施する建設事業 の大府市負担額	